

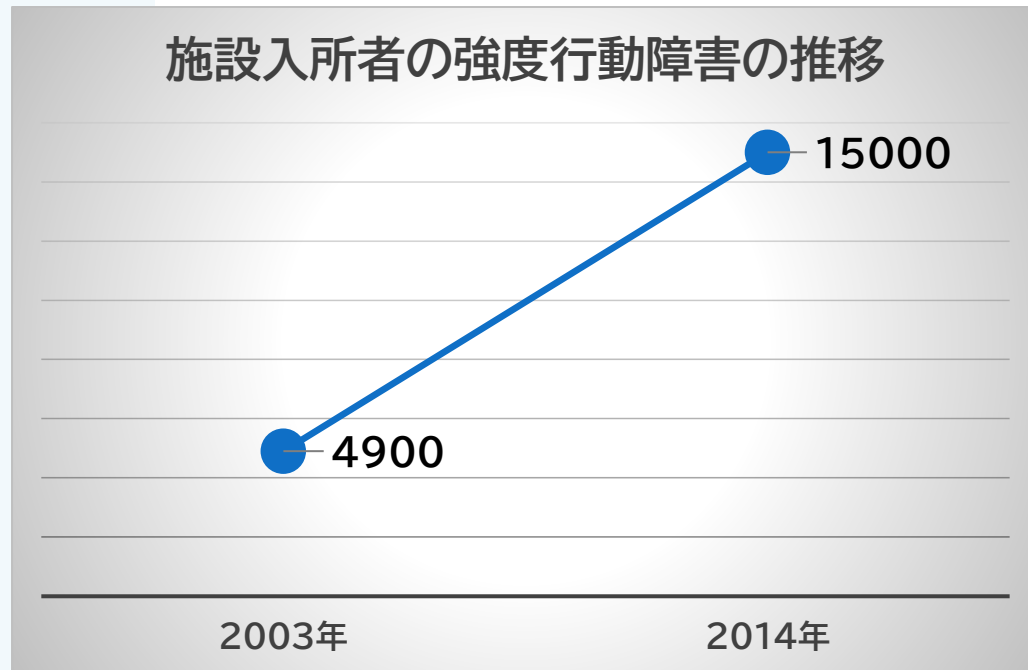


# 困り感への行動支援研修 (強度行動障害者支援フォローアップ研修) 報告(R3年度版)

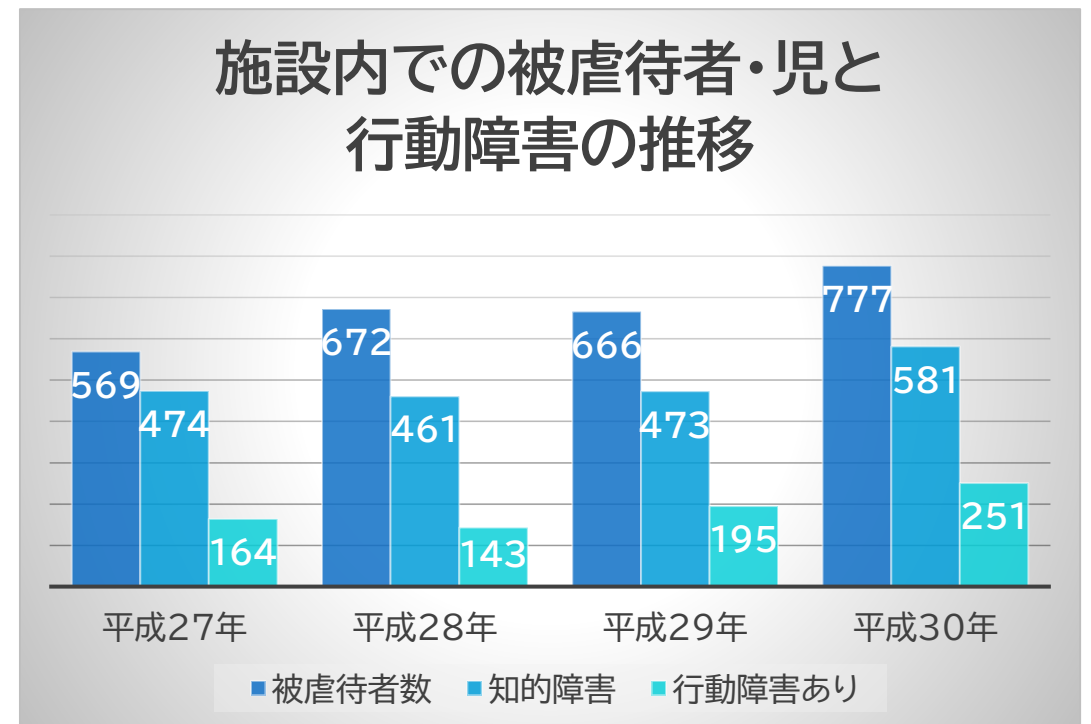


# 自閉症者児と行動障害(自傷・他害等)の課題

- 強度行動障害は、支援者側が生み出した2次障害＝適切な支援が行われていなければなることはない
- 支援者側が生み出した強度行動障害が虐待の対象になりやすい



引用:日本知的障害者施設協会



抜粋:障害者虐待防止法対応状況調査報告書

適切な支援を行うために強度行動障害支援者研修は必須

# 強度行動障害支援者研修の課題

知識と技術の同時進行でないと『成果が生まれない』

管理者や現場のトップの理解がないと進まない

適切な支援がないと強度行動障害になり得る予備群は多数存在する

フォローアップ研修がないと現場に適用しにくい

# 困り感への行動支援研修概要



①リーダー格が参加  
最終日に管理者参加



④ファシリテーターが付き、  
アプリを介し常に相談が可能

③事業所職員に  
ダイジェスト動画配信(15分程度)



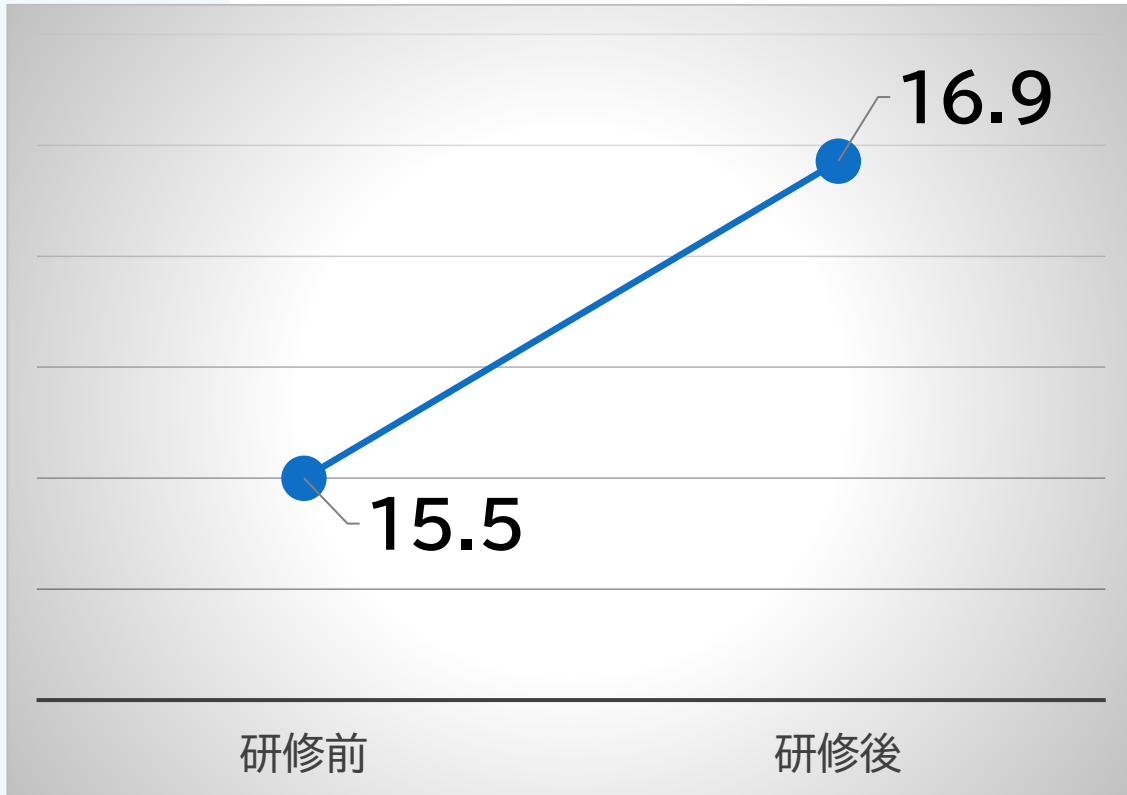
②事例を活用したZoomでの5回研修  
(事前にプレ研修)

全  
10事業所

	講義・YouTube内容
第1回	行動とは
YouTube	チーム支援と行動
第2回	目標行動の設定
YouTube	記録の取り方
第3回	支援計画の作成
YouTube	支援計画書の説明
第4回	支援計画修正
YouTube	うまくいかない時は
第5回	実践発表

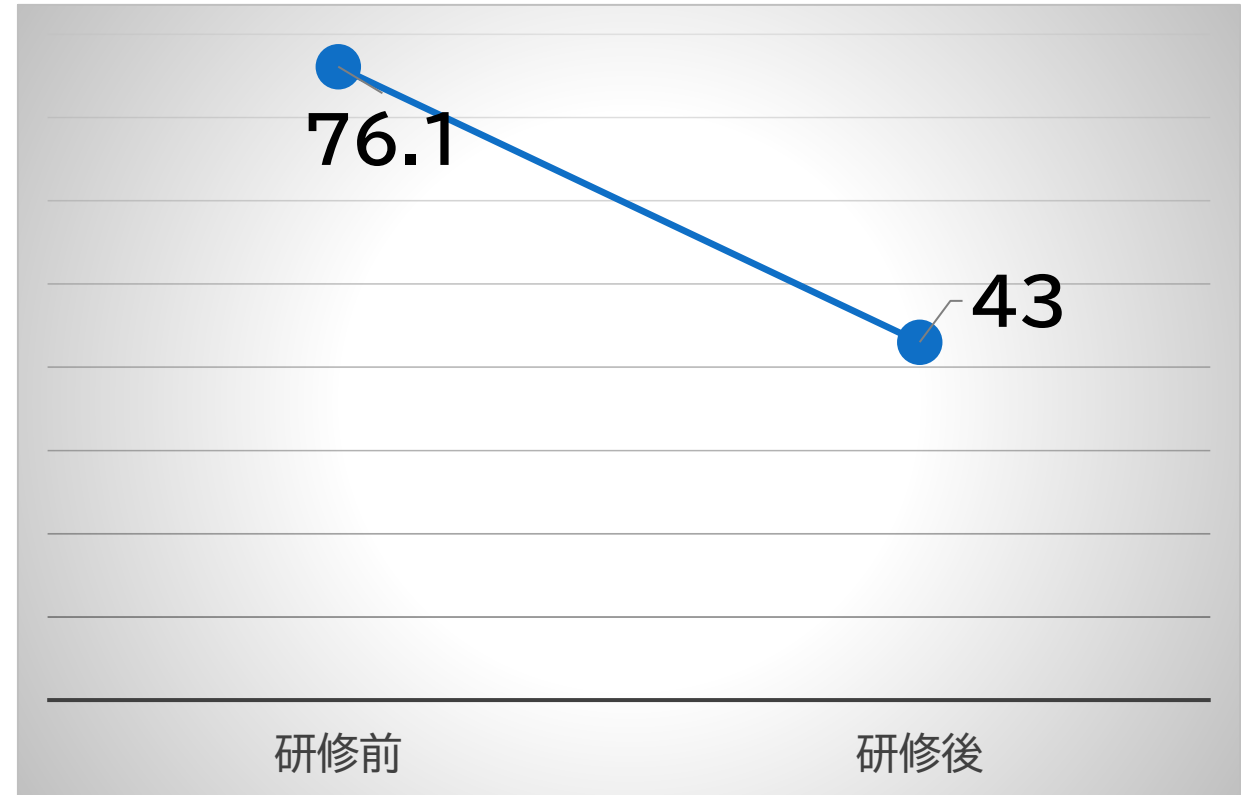
事業形態	事業所数
児童発達	1事業所
放課後等デイ	6事業所
生活介護	2事業所
就労継続B型	1事業所

## 知識テスト(KBPAC)の 効果測定



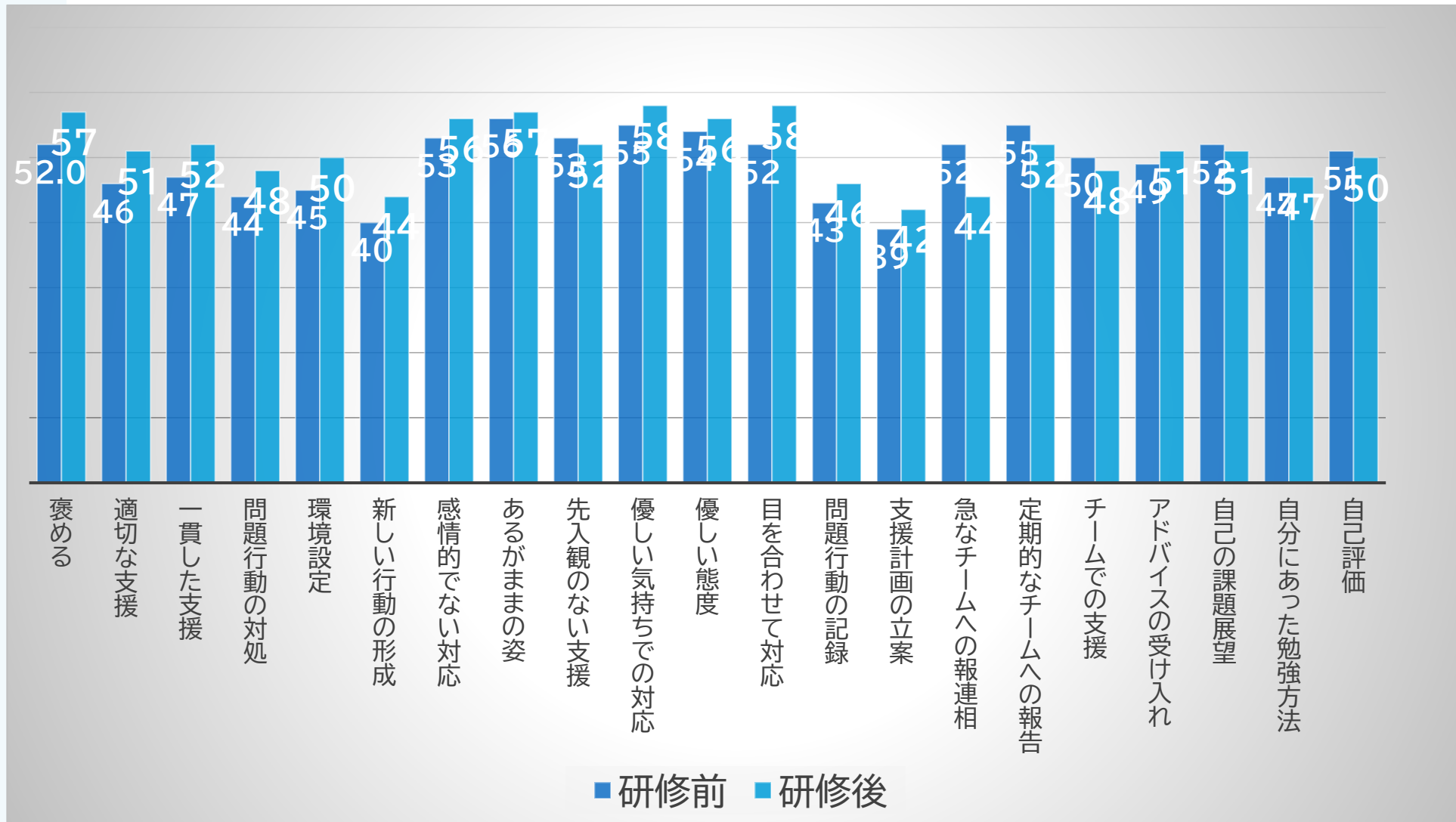
事業所職員への効果

## 問題行動(ABC-J)の 効果測定



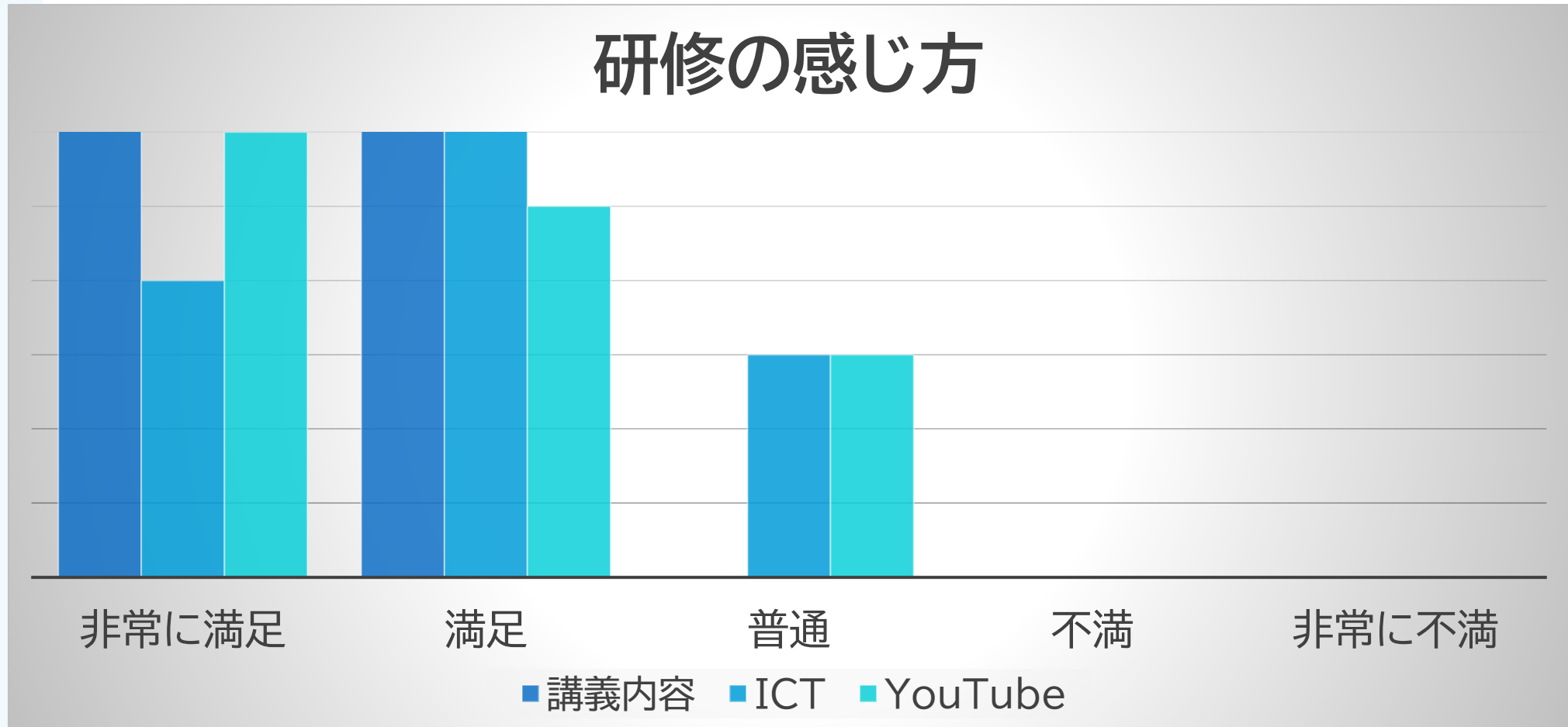
事例対象者の行動障害を  
軽減する効果

# 倫理観を含めた自己効力感



支援に関する自信が高まる効果がある

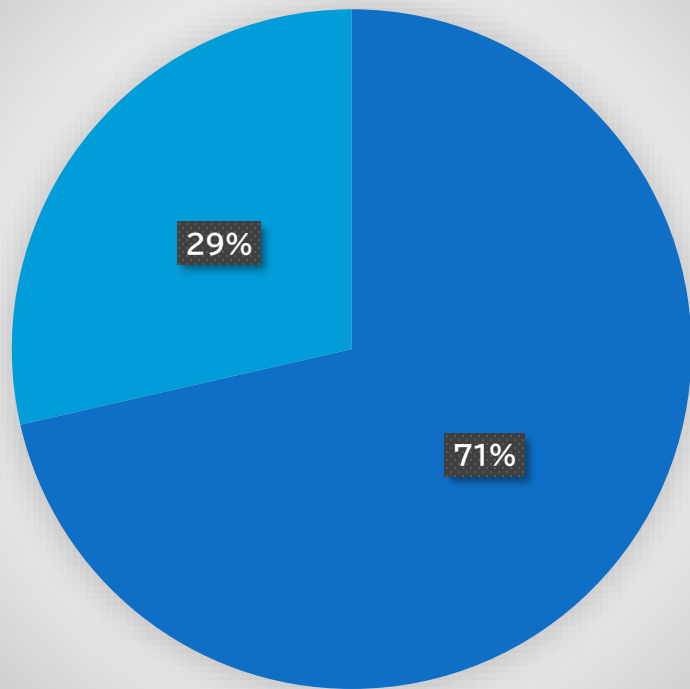
# アンケートから



- ・ ICT(slack:情報共有のためのアプリ)
- ・ YouTubeは一定の慣れが必要なため、満足度が分かれる。

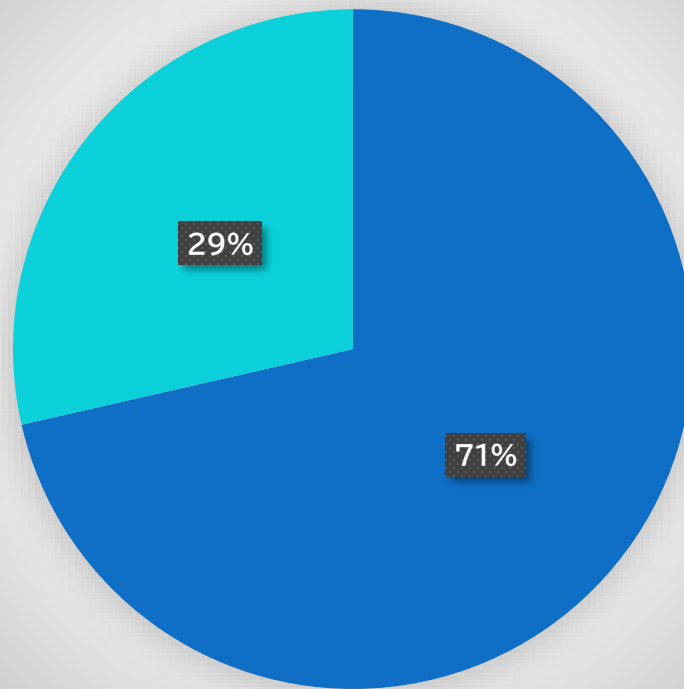
# 研修の定着度【ZOOMでの参加者】

ミーティングの場を設ける



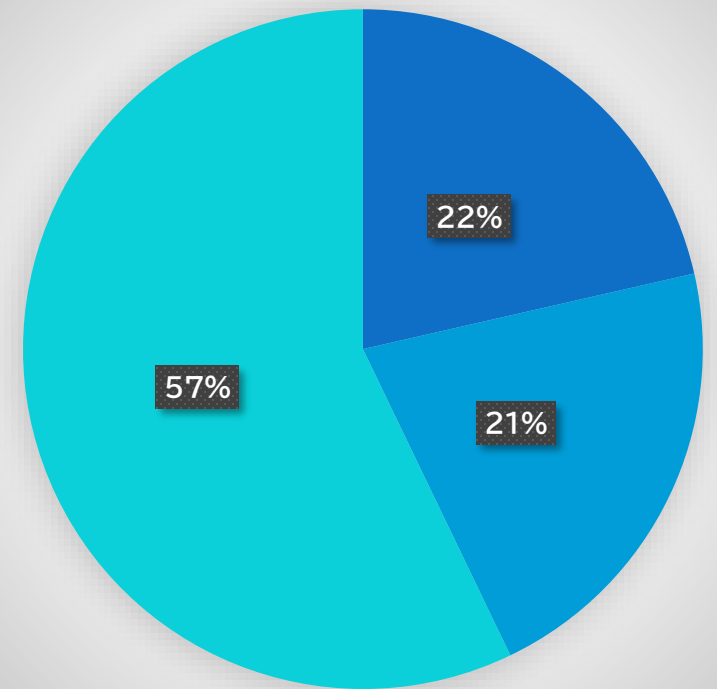
■している ■していない ■どちらともいえない

問題行動の記録



■している ■していない ■どちらともいえない

定期的な現場指導

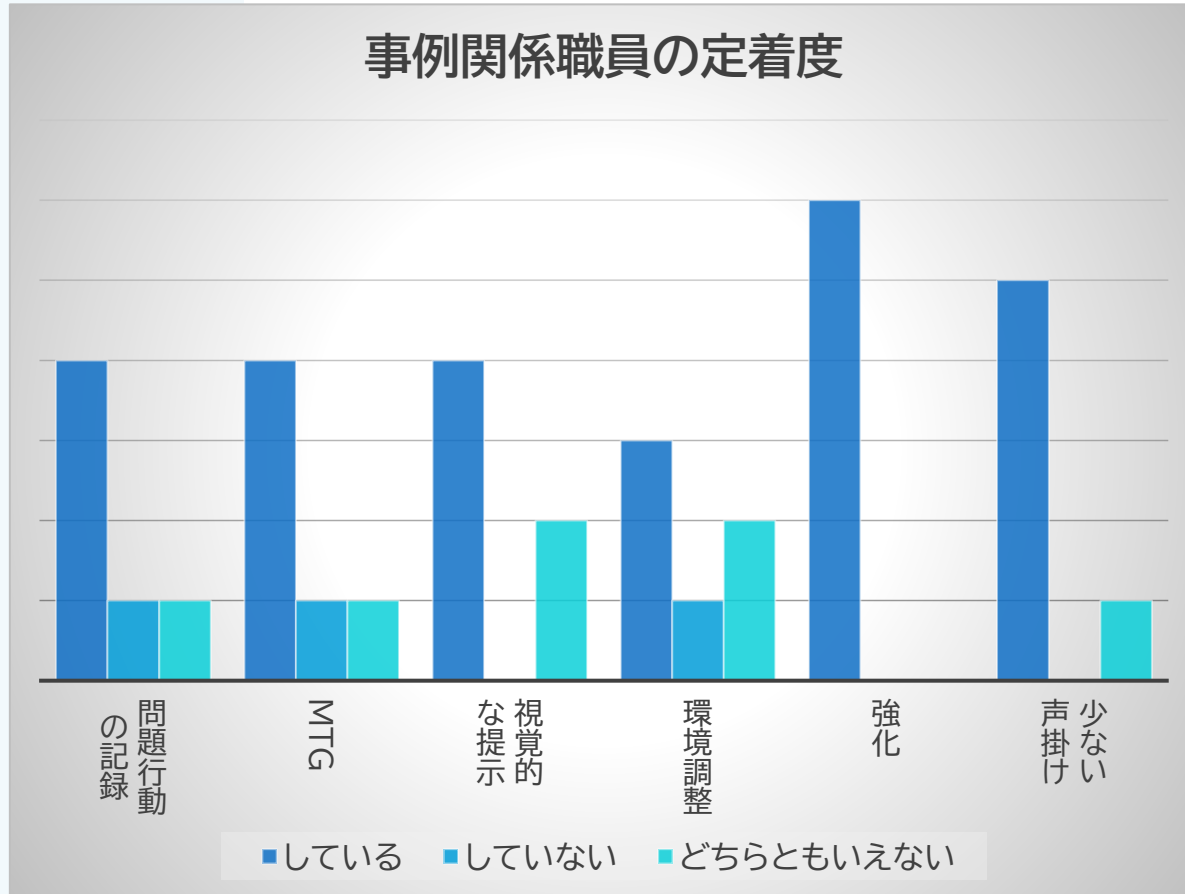


■している ■していない ■どちらともいえない

ミーティング・記録は定着しやすいが、  
現場指導は人員不足により困難か



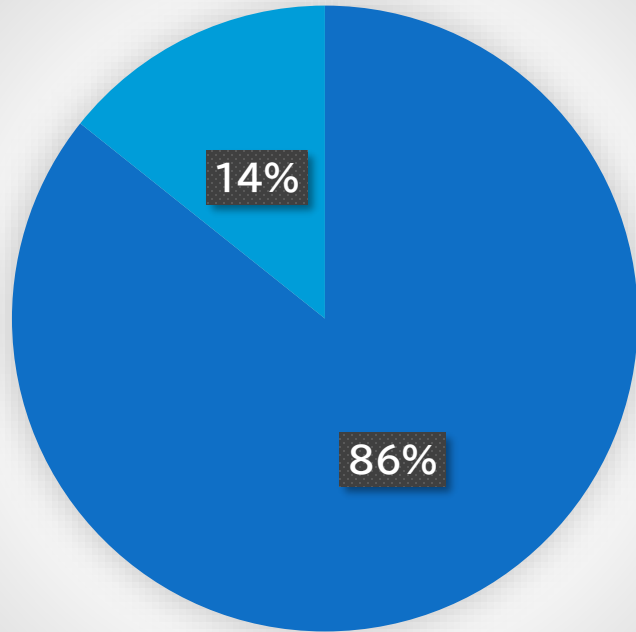
# 研修の定着度【事例関係職員】



- 環境調整・視覚的な指示は準備が必要になるためか、予算・時間の確保から事業所・法人の合意形成が必要

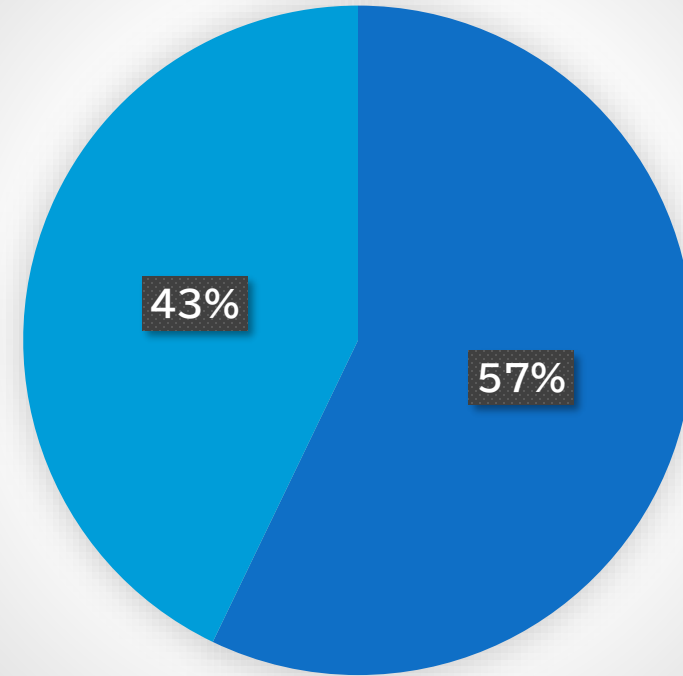
# 研修参加者の必要度

今後部下に参加させたいか

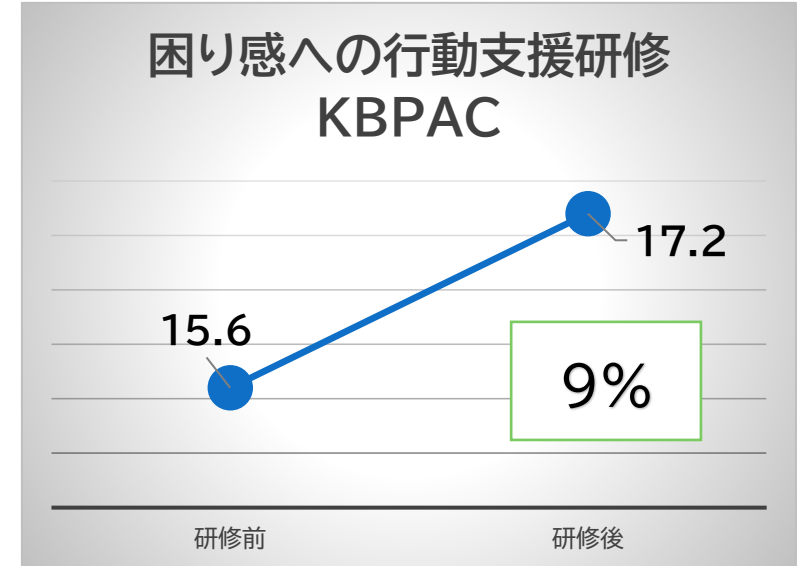
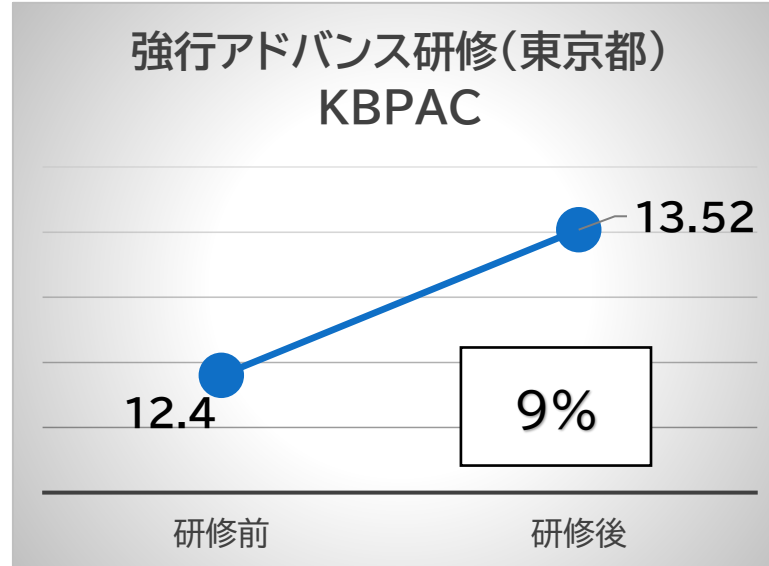
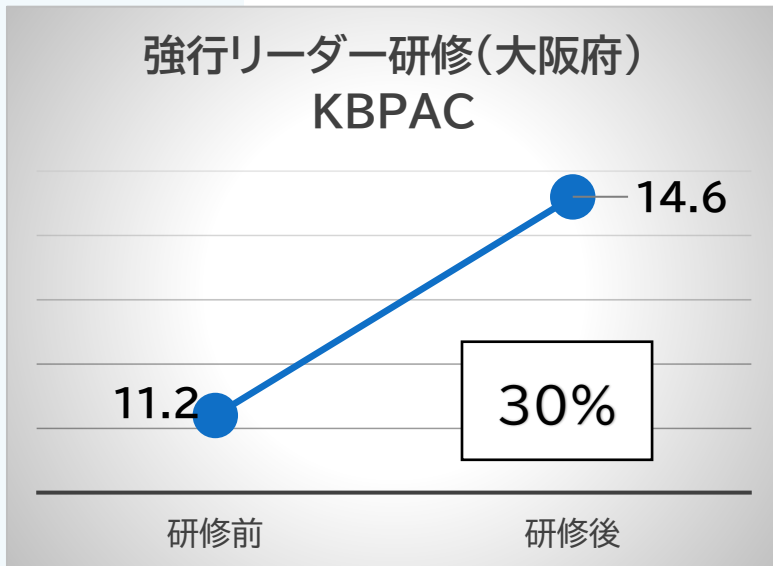
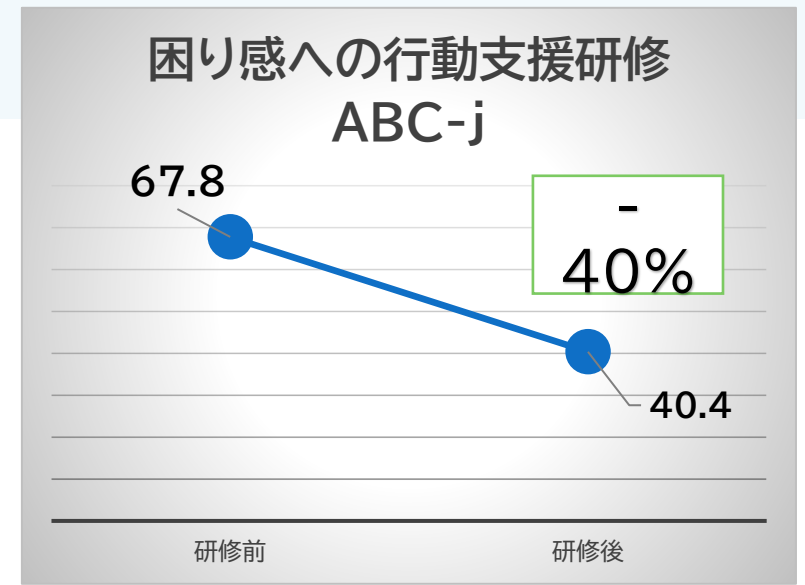
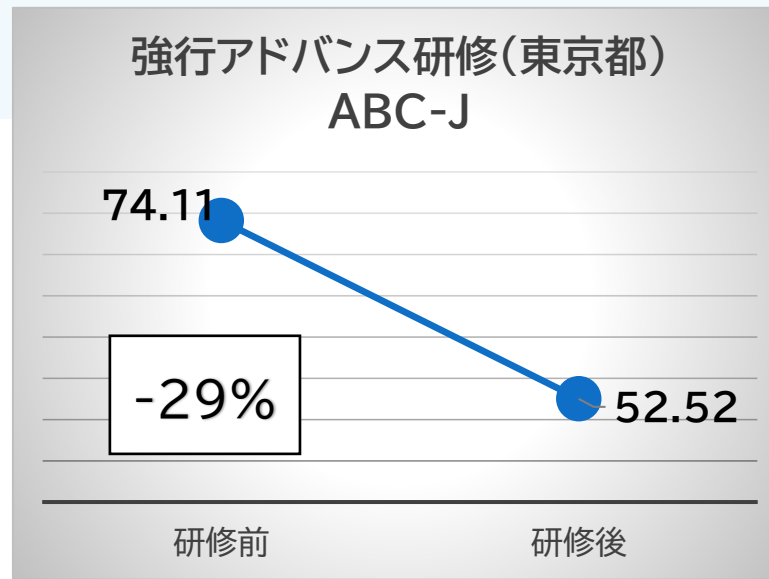
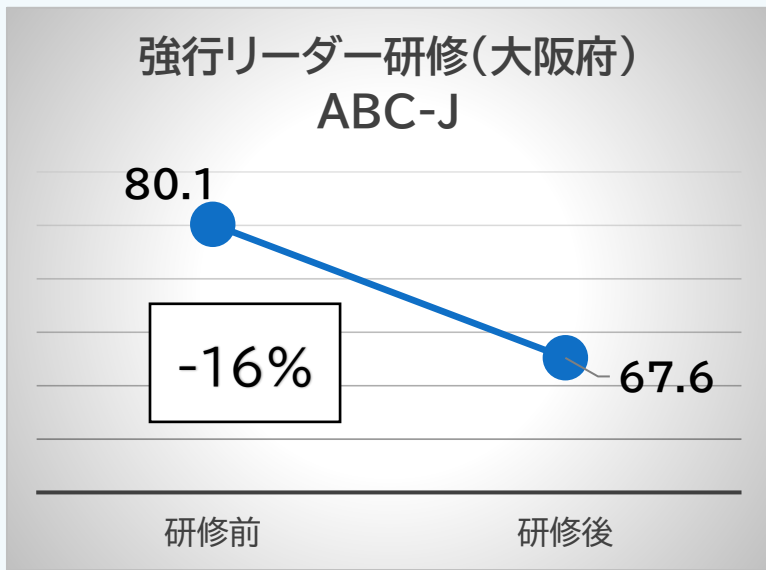


■ 参加させたい ■ やや参加させたい  
■ やや参加させたくない ■ 参加させたくない

自分の地域にこのような研修は必要か



■ 必要 ■ やや必要 ■ やや必要ではない ■ 必要ではない



他の先行事例と比べても引けは取らない

# 自由記述(一部抜粋)

- ◆ 支援者のやり方次第で利用児が変わっていくのがよくわかりました。
- ◆ これまで問題行動に対しどうしてそんな行動をするのか疑問に思うだけでしたが、行動の直前と直後に注目することによって以前よりもその子を取る行動の理由が徐々に分かるようになり、また同じように見えて行動によって理由が異なることが分かり、スタッフが思ってもいなかった理由があることを知ることができました。事例に挙げた児童に関しては問題行動が起きる度にメモを取ることは意識していますが、他の児童の問題行動に対してもメモを取るようにして対策を考えられるようにしたいと思います。
- ◆ 日々の業務に忙殺されてしまうなかで、立ち止まり考えることができました。貴重な経験でした。研修のお話も大変興味深いものでした。ありがとうございました。

- ◆ 困り感への行動研修でしたが、困ってるのは本人なのか支援者側の視点ではないのか、改めて考える機会を頂きました。問題行動とよばれる行動の前には前兆があり、そこをターゲットとすることも学べ、またそれにまつわる様々なことも学ばせて頂きこれからの支援に役立てようと思いました。
- ◆ 今回、困り感研修を受講させていただきありがとうございました。普段している支援もこれでいいのか？といろいろな面で改めて考えさせられました。受講していないスタッフにも話してみんなで協力し、より一層いい支援が出来るよう心掛けたいと思います。
- ◆ 改めてABC分析の必要性を感じることができました。子どもたちをよく観察し、何に困っているのか何があったのか結果どうなったのかを記録することがとても重要だと感じました。今後の支援にも繋がるととてもいい研修でした。ありがとうございました。
- ◆ 問題行動に対する事前評価の考え方がとても参考になりました。今後の支援に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

# 課題点

研修を受ける事業所に偏りがある

- ・ 質を高めないリスクを可視化

支援者だけでなく、教員等にも有効

- ・ 対象を教員等にも拡大を検討

講師・ファシリテーターの養成

- ・ 助言を的確にするためにも、事前打ち合わせを入念に

# 広域で

- ・ 変化を望む強いリーダーの存在は必要不可欠
- ・ 対象者数が多いほど、他事業所の支援が可視化され人材育成の相互作用が生まれる。

= 次世代のリーダーの育成

